



▲建物の解体が進む第三地区



▲府中駅高架下の仮設店舗街

▲府中駅南口第三地区市街地再開発事業完成予想図

平成14年度

府中市一般会計予算を可決

第1回定例会 47議案を審議

平成14年第1回定例会は、2月25日から3月22日までの26日間の会期で開催しました。
市長提出議案は、平成14年度府中市一般会計予算をはじめ、府中市立公園条例の制定など42件を審議し、すべて可決しました。
議員提出議案は府中市議会委員会条例の一部を改正する条例など5件を審議し、すべて可決しました。また、陳情9件を審議しました。

一般会計予算

予算額702億8000万円

時代のニーズにこたえる施策を展開

平成14年度府中市一般会計予算は、予算総額が歳入・歳出それぞれ702億8000万円、前年度に比べ0.9%の減となっています。

提案にあたり市長から「厳しさを増す経済情勢の中で、市税の大幅な減収や利子割交付金の減額が予想される。また、競走事業についても、収益金が見込めない状況にある。

このような中で、新たな総合計画に基づく市政運営の初年度となる14年度予算編成に際しては、時代のニーズにこたえる積極的な施策の展開を図り、事業の見直しと基金の効率的な活用に努め、福祉、環境、教育、IT関連事業などを重点的に予算配分した。

また、投資的経費については、緊急性・安全性の観点から施設改修に対応するとともに、府中駅南口再開発や南武線新駅設置など、将来を見据えたまちづくりやバリアフリーなどの福祉のまちづくりに重点を置いた予算を計上している。」との説明がありました。

3月13日から19日まで開催された予算特別委員会で、慎重な審査が行われました。そして、3月22日開催の本

会議で、賛成・反対討論が行われ、「財政の健全化が図られている。市民要望に的確に対応しているので賛成する。」、「市民生活の実態を見据えてほしい。新総合計画のスタートに不安を残す予算であるので反対する。」等の意見がありました。

採決の結果、賛成多数で平成14年度一般会計予算を可決しました。

(関連記事2・3面に掲載)

主な施策

▽新規事業
○市政ダイレクター(NP)

意見書

国・都へ提出

◎容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書

◎都立図書館再編計画に関する意見書

容器包装リサイクル法は、生産者にリサイクルの義務と、容器包装の再商品化を図る目的で制定され、市も法に基づき、分別収集を行っている。

都立多摩図書館は、市町村立図書館の支援図書館として、重要な存在である。しかし、都の再編計画では、都立中央図書館の分館として位置づけられることにより、資料収集の限定、蔵書の減少等、市民サービスの低下が懸念される。

特にペットボトルはリサイクル率を上回る量が流通しており予算の増加を招いている。本市議会は、政府に対し、事業者責任の明確化等、法の見直しを要望する。

本市議会は、都に対し、多摩地域のサービス維持と計画の早期提示や協議を要望する。

決議

◎多摩地域の保健所再編整備案に反対する決議

保健所は地域における保健衛生行政の中心的機関として多様な活動を行っている。しかし、都は多摩地域の保健所を再編整備すると発表した。人口規模や面積から、保健医療と社会福祉の連携に支障を来しかねない。よって、本市議会は都の再編整備案に断固反対し、撤回を求める決議を行い、都へ送付した。

- 、緑化の設置
- ファミリースポーツセンター事業
- インターネットサロン整備事業
- 私立保育園定員の増
- 乳幼児医療費助成事業
- 歯科医療連携推進事業